

みんなで楽しくおやつ作り 男の生きがい教室を開催

2月7日、保健福祉ふれあいセンターで男の生きがい教室を行いました。この教室は市内在住の65歳以上の男性が対象で、軽スポーツや地域活動、季節のイベントなどを実施し、楽しむ気持ちを大切にしながら、仲間をつくることを目的に行っています。

今回行った教室は、みんなでおやつ作りと題し、赤飯まんじゅうと麩を使ったお菓子作りを体験しました。

教室の参加者は「慣れない作業でうまくできるか不安だったが、おいしくできて良かった」「家で作って、家族に食べさせたい」と感想を話していました。



ときは、今！「麒麟がくる」で市の魅力を発信



2月7日、市ゆかりの戦国武将・明智光秀が主人公の2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を地域の活性化につなげようと、市は「山県市大河ドラマ「麒麟がくる」活用推進協議会」を立ち上げました。市内には、明智光秀に関する伝承があり、また、光秀と関係の深い美濃国守護・土岐氏と斎藤道三が最後の戦いを繰り広げた大桑城などの史跡も残っています。

大河ドラマを契機に、協議会を構成する市商工会や市観光協会、市自治会連合会などと官民協働で、市の魅力を市内外へ発信していきます。

名誉市民故・村橋忠夫さんに 叙位「正六位」を伝達

山県市名誉市民で、元伊自良村長の故・村橋忠夫さんに対する叙位「正六位」の伝達式が2月15日に公室で行われ、市長からご遺族へ位記が手渡されました。

村橋さんは、伊自良村長として昭和62年4月から平成15年3月までの4期16年にわたり在職。山県市となつてからは山県市長職務執行者として任期を務め、地方自治の発展のために多大な貢献をされました。

平成16年春には叙勲「旭日双光章」を受章され、今回、叙位「正六位」が授与されました。



山県を知ろう Marugoto やまがた観光物産フェア開催



2月17日、JR岐阜駅西にある商業施設「アクティヴG」のふれあい広場で「marugotoやまがた観光物産フェア」を行いました。

この物産展は、旬の果物や野菜、特産品、加工品などの物産販売と、季節に応じた市の見どころを紹介することにより、山県市の魅力を発信し、市への来訪者の獲得を目的に、市観光協会が主催したものです。

会場では、旬のいちごや山菜などの買い物をしたり、市観光親善大使ナツチヨルクんのオリジナル缶バッジを作成したりと、大人から子どもまで多くの人が山県市の魅力に触れた1日となりました。

ふるさとのよさを次世代へ 継承するために

3月3日、花咲きホールで、市重要無形民俗文化財舞台公演会が行われました。

市指定文化財の立華、葛原太鼓踊り、伊自良十六拍子、北山雨乞い太鼓・雨乞い踊り、柿野獅子神楽の各保存会による民俗芸能が披露されました。

訪れた150人は、親から子へと連綿と受け継がれてきた地域の伝統芸能の熱演に見入っていました。

また市文化財審議会会長の西村寛



良さんによる「民俗文化財を生んだ山県市の歴史的風土」と題した講演も行われました。

この日は、ふるさと山県市のよさが大いに感じられる有意義な日となりました。



第15回やまがたジョギング 大会開催

3月9日、四国山香りの森公園および鳥羽川サイクリングロードで、山県市体育協会の主催により、第15回やまがたジョギング大会が開催されました。

ロードレース10部門、ジョギング、ウォーキングに市内外から約1,300人のランナーとウォーカーが集



い、快晴の中、山県の自然豊かな道に汗を流しました。

会場内では、豚汁サービスや、なわとび教室、岐阜経済大学駅伝部の揖斐監督によるランニング教室も行われ、将来のアスリートやランニング愛好者の楽しい集いとなりました。

この大会は第1回からボランティア活動で運営され、今年は185人が活動に参加しました。

